みどりとでぃと

no.174
2020年（令和2年）
9月1日発行

樹木のふしぎ／**バショウ**
みどり探訪／**四季を彩る観泉寺**
緑の歳時記／**アメリカフウロ**
特集／**公園とボランティア**
杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針を策定
みどりの窓／**柏の宮公園の一部拡張ほか**
園芸ワンポイント／**果樹のせん定方法**

樹木のふしぎ

バショウ（芭蕉）

バショウというと何を連想するでしょうか。俳人の松尾芭蕉、沖縄奄美地方の芭蕉布、バナナが実る樹と思う方も・・・

◆どんな植物ですか

樹木と思われている方も多いかと思いますが、意外や「草」なのです。バショウ科の多年草で、高さは２～３m、葉も大きく１～２mになり、夏には黄白色の花を穂状につけます。原産地は中国と言われています。

◆バナナとの違いは？

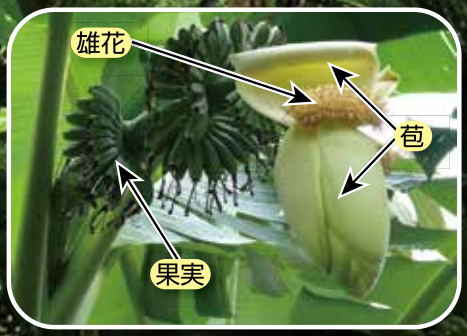
バナナとバショウは同じバショウ科の多年草です。「バナナ」は実芭蕉とも言われ、主に熱帯で栽培されますが、「バショウ」は温暖地で生育し、主に庭園などで観賞用として植えられています。バショウの果実は種が多く、果肉はほとんどないので食用にはあまり向きません。

◆どこで見られますか

区内では荻窪にある「角川庭園」の入口のシンボルとなっています。都内では小石川植物園、神代植物公園、江東区芭蕉記念館などで見られます。

◆花言葉は

「燃える思い」です。



写真：杉並区立角川庭園（荻窪3－14－22）

一足早い春を告げるカンヒザクラ

みどり探訪

四季を彩る観泉寺

荻窪警察署の脇を北に向かっていくと、荻窪病院の先で二手に分かれる道があります。中央に「観泉寺」と彫られた大きな石があり（右写真）、春には満開のサクラが迎えてくれます。

今川２丁目にある観泉寺は、1597年（慶長２年）創建の曹洞宗のお寺で、東京都指定旧跡の今川家累代の墓があります。

山門を入って左手に日本庭園、オオイチョウ、ボタン、シャクナゲ、右手にはシダレザクラ、ウメ、竹林などがあり、静寂な境内は都内であることを忘れさせてくれます。お寺の外周りを歩いても趣があります。

新緑、紅葉と１年を通じて樹木が楽しめるお寺を散策してみてはいかがでしょうか。

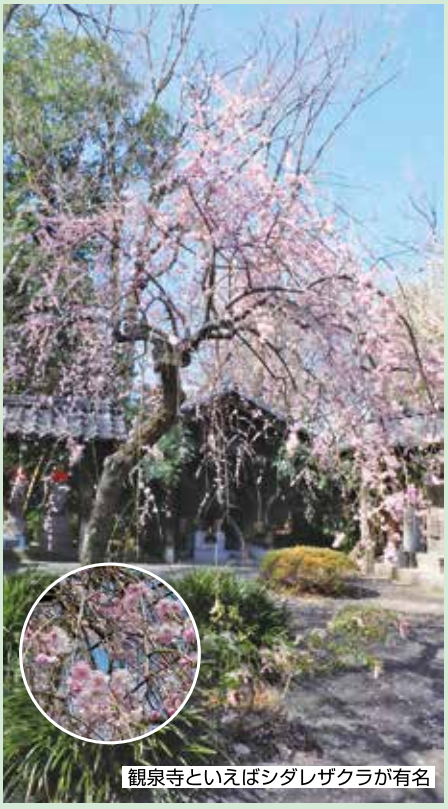
※山門は８時～16時頃まで開いています。

※この記事に関するお寺へのお問い合わせはご遠慮ください。

観泉寺と刻まれた大石

風情があるお寺の外周

美しい紅葉に彩られた山門


観泉寺といえばシダレザクラが有名

黄葉が見事なイチョウ

初夏の境内

雪の山門

緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

アメリカフウロ（亜米利加風露）

北アメリカ原産の越年生草本／フウロソウ科

全体に白い軟毛があり、茎は基部からよく分岐して高さ40cmくらいになります。

葉は長い柄があり、全体的には円形。５深裂し、さらに細裂し、縁は紫色を帯びます。花は春から初夏にかけ、葉腋（ようえき）に花柄を出し、直径約５mmの淡紅色の５弁花をつけます。果実は約２cm、くちばし状で５つに弾け、種が飛び出ます。

1932年、京都市で発見されました。区内では善福寺公園や道端、街路樹の枡（ます）の中でよく見ることができます。

※葉腋：葉のつけ根の部分

公園とボランティア

さまざまなボランティアの方が、公園の維持管理を支える活動を行っています。その中でも特色ある公園と、そこで活躍するボランティア団体をご紹介します。

公園ボランティアとは

◆**みどりのボランティア杉並**／ボランティア入門として、区のプログラムに沿って、除草、清掃等の活動を行います。
◆**すぎなみ公園育て組**／公園の清掃や植栽の手入れ、腐葉土作りなどを自主的に行っています。
◆**花咲かせ隊**／公園の花壇づくりなどの緑化活動を自主的に行っています。
◆**認定みどりのボランティア**／公園などで、みどりの保全や育成に関して自立した活動を行っています。

宮前公園（宮前２－12－18）

竹林のある公園です。「耳」をテーマにした７つのオブジェ「みみのオアシス」があります。

▲竹林の竹を使った生け垣づくり

◀花壇づくり

●宮前公園で活動する 認定みどりのボランティア「すぎなみくろすけ」の声

公園で間伐した竹を使用した活動も行っています。竹やまつぼっくりを使った炭焼き作りも行っています。毎年３月には柏の宮公園で炭焼きイベントを開催しています。

▲炭焼き作りの作品

井荻公園野草園（西荻北４－38－17）

多くの子供で賑わう井荻公園。公園東側の急斜面に「井荻公園野草園」があります。

●野草園で活動する 「井荻公園野草園育て組」の声

かつて人里にあった野草を育て維持し、誰もが楽しめる野草園となるように自主的な活動を行っています。

野草園を月２回程公開しています

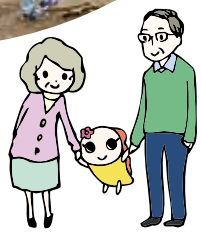
通常は閉鎖していますが、ボランティア活動日のみ公開しています（雨天時は閉鎖）。

※公開日は現地看板にてお知らせしています。

※園内に咲いている花（フクジュソウ、カタクリなど）

杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針を策定しました

方針策定の背景と目的



区ではこれまで計画的に公園整備を進め、その箇所数は300を超えました。一方で、公園施設の老朽化に伴い維持管理費が増加するとともに、公園利用に関する区民ニーズの多様化など、公園を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうしたことから、公園施設（公園に付帯する遊具・ベンチなどの施設）の再配置等による公園機能の見直しを図りながら、多世代が利用できる魅力ある公園づくりを推進するため、基本方針を策定しました。

公園における現状と課題

◆公園の整備状況

計画的な公園整備を進め、区民一人当たりの公園面積は着実に増えています。一方で、3000㎡規模に満たない公園が全体の約９割を占め、規模の大きな公園が不足しています。

◆公園施設の老朽化

開園から30年以上経過した公園が６割を超え、公園施設の老朽化が進むとともに、バリアフリー化や遊具の安全・安心への要請が高まっています。

◆区民ニーズに合っていない公園機能

公園利用に関する区民ニーズが多様化し、現状の公園機能と差異が生じています。

上記の課題解決に向けた基本的な考え方

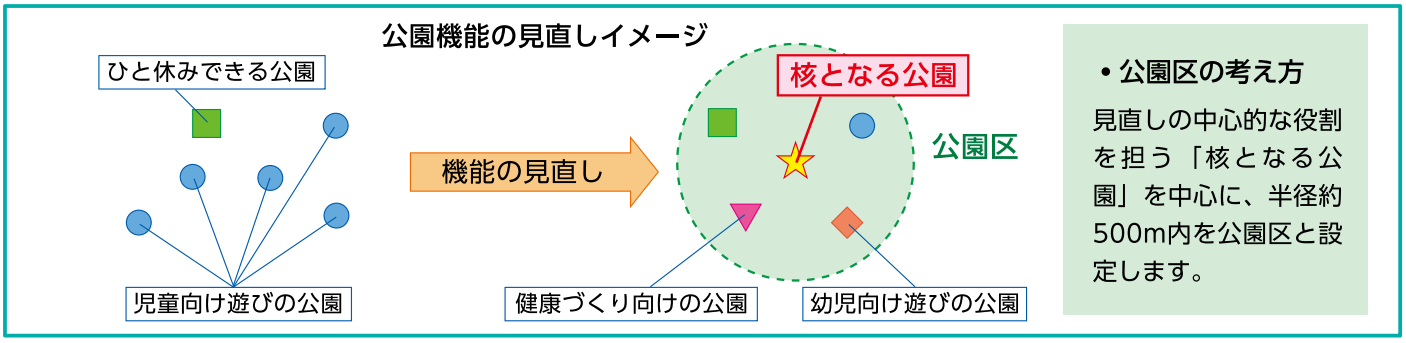
①公園機能の見直し（質の向上）
公園施設の再配置等によって、公園機能を見直し、区民ニーズに応えていきます。

②公園の整備（量の確保）
新たな公園の整備は引き続き進め、規模の大きな公園の確保に努めます。

本方針の取組

●複数の公園による公園の見直し

杉並区は規模の小さな公園が多いため、一つの公園で全ての機能を満たすには限界があります。そこで、周辺の公園も含めた複数の公園を一つの単位（公園区）として公園機能を見直し、一つの公園で足りない機能を周辺の公園で分担、補完します。



多世代が利用できる公園づくりの実現に向けて

公園機能の見直しには、ワークショップ等を開催し、利用者である地域の皆さんや事業者等と話し合いながら進めていきます。

また、地域に偏りがないよう配慮しながら、本方針に基づく取り組み効果が高い公園区から順次改修を進めていきます。

みどりの窓

森林環境譲与税の一部を公園施設などに活用しています

森林環境税及び森林環境譲与税は、温室効果ガス削減や災害防止等を目的として創設され、森林整備や木材利用の促進のため、地方自治体に譲与されています。

杉並区では森林環境譲与税の一部を、公園の野外卓や「いこいの森」の看板に国産木材を利用して、活用しています。

杉並区の森林環境譲与税の活用事例（令和元年度）

▲桃井原っぱ公園の「野外卓」

▲清水いこいの森の「看板」

柏の宮公園　一部拡張しました

柏の宮公園（浜田山２－５－１）は、区立公園で最も広い公園です。武蔵野の面影を残した疎林広場やのびのびと憩える草地広場があります。

また、災害時の避難場所にも指定され、備蓄倉庫や防災井戸を備えるなどの防災機能があります。

今回の拡張により、避難スペースが拡充されたほか、公園が外周の道路と全て接し、利便性も向上しました。この機会に、ぜひお出かけください

▲南側の開放的な芝生広場

園内の起伏に対応したゆるやかな階段園路▶

みどり公園課公式Twitter ぜひご覧下さい！

ユーザー名：@suginami_koen

◆杉並区みどり公園課公式アカウントでは

区立公園の情報や、みどりのボランティアの活動状況、四季の樹木情報、荻外荘の復原・整備状況などをお届けします。

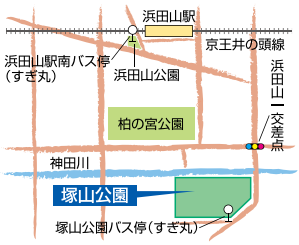
※原則として返信は行いません。

みどりの相談所の先生に聞く

園芸ワンポイント

指導：戸辺広二（とべこうじ）先生

みどりに関する相談は
塚山公園 みどりの相談所
☎03−3302−9387
杉並区下高井戸5-23-12
毎週日曜日午前9時30分～午後4時30分（正午～13時を除く）。第5日曜日、年末年始はお休み



果樹のせん定方法

果樹のせん定は、果樹に甘くて美味しい果実をたくさん実らせるためにも、適切に行うことが大切です。

◆せん定の目的

①枝を支え樹形を整える
②樹冠全体に日を当てる
③ボリュームを増す…太く長く古い枝を減らし、若い実のつく緑枝を多くする。
④花を落とす…実の数を減らし、枝葉の生長を促し、樹齢を長くします。実のなり年には枝を減らして翌年にも花がつくようにします。
⑤風通しを良くする…病害虫を防ぎ、被害にあった枝を取り除きます。
⑥手入れをしやくする

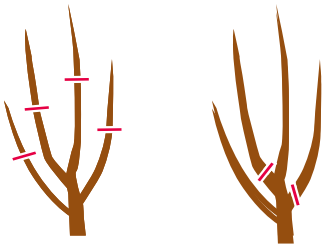
◆せん定の時期

せん定はふつう、冬季（休眠期）に行いますが、樹勢の強すぎる場合、夏季にも行うことがあります。収穫後の不要な枝や隣の木と密になり日当たりが悪いと判断される場合は、9～10月の葉がある時期に行います。

◆せん定の方法

- **切り返しせん定**
  枝の途中で切り、枝張りを縮めます。樹勢が強くなります。
- **間引きせん定**
  枝の分岐部で切り、枝張りを縮めません。樹勢が落ち着きます。

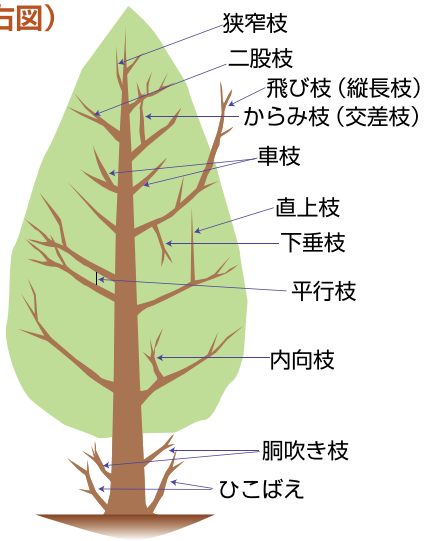
切り返しせん定　間引きせん定



◆せん定する枝（右図）

せん定する枝は、枯れ枝、病害虫枝、ひこばえ、徒長枝、交差枝、車枝、下垂枝、二股枝、平行枝、内向枝などです。

これらの悪い枝は、すぐに切るということではなく、徐々に良い樹姿に改善することを目指します。

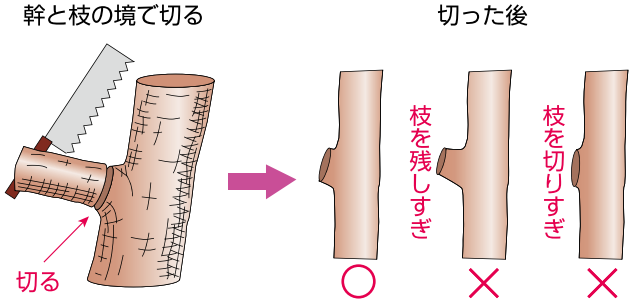


例えば、二股枝は片方を短く、片方を長くし、勢力に強弱をつけていきます。平行枝は２本の枝が上下または左右に平行して伸び、枝が混雑してしまうため、光が中に入りません。側枝を短くして枝が伸びる方向を変えて、開いたり、光が入るようにします。

◆枝の切り方

切る位置と角度に注意します。

太い枝の正しい切り方



編集後記　「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

●編集会議は全て郵送となりました。無事発行出来たことに感謝。可愛い花や思いがけない虫に会え、コロナ散歩を楽しんでいます（原）
●観泉寺の写真は秋から早めに撮影に行き、たくさんの美しい写真が出来ました（三）
●善福寺川でカルガモの子連れが何度も見られ、ホっとするひとときでした（山）
●今号はコロナウイルスによる緊急事態宣言のため、テレワークに近い形での編集でした（中）
●広大な緑葉・青い空・白い雲、そして南風がバショウに合う！（石）
●知らない場所をこちらの取材で訪れられるのが楽しみです（佐）
●テレビ前はミニポットでペチュニア、金魚草、カランコエ等で百花繚乱でした。昼はベランダへ出します（水）
●庭のアジサイが雨に濡れた姿に心を洗われるようです。思わず見入ってしまいました。改めて植物のパワーを感じます（み）
●この新聞が発行される頃には、コロナが少しでも終息に向かっていると本当にいいなあと思いますが果たして？（松）
●今回の編集は、会議での意見交換ができなく、郵送だったため、一人で考え意見をまとめ送付するのは負担でした（小）
●時節柄、公園などをマスクをつけ行き交う人を避けながら散策。可憐な草花や木々の新緑に癒やされるにつけ、みどりの大切さを痛感（羽）

みどりの新聞　みどりとひと174号　令和2年9月1日発行
編　　集／みどりのボランティア
編集・発行／杉並区都市整備部みどり公園課　〒166-8570　杉並区阿佐谷南1-15-1　☎03−3312−2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

VEGETABLE OIL INK